

### 3.9.1 連携研究部門 融合研究グループ／産学連携グループ

グループリーダー（兼務） 草川慶一 ほか6名

#### 拠点研究開発の推進

##### 概要

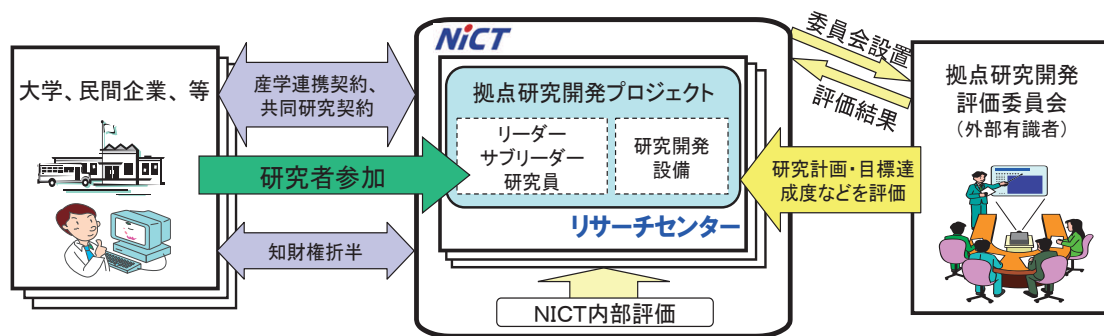
拠点研究開発では、3年から5年程度の期間を定めて、大学や民間企業などの有能な研究者が研究開発拠点（研究開発に必要な設備を整備した施設：リサーチセンター）に結集して行うことにより、より効率の良い研究開発が実施でき、より高い成果を上げることが期待される研究を行っている。

拠点研究開発プロジェクトの評価に当たっては、外部有識者による拠点研究開発評価委員会を設置するとともに、その下にプロジェクトごとの分科会を設置し、研究開発計画や成果を研究者から直接確認することによって評価を行い、その結果を基にして評価委員会において評価を決定している。

各プロジェクトの概要等については、3.9.1.1 及び 3.9.1.2 を参照されたい。

また、NICT が自ら行う研究と大学や民間企業など外部機関への委託研究の連携を強化し、全体として最大の効果が発揮できるように、優れた知見・見識を有する学識経験者等をプログラムコーディネーターとして招へいし、研究開発課題（プログラム）に係る指導・助言を得ながら研究開発を実施している。

##### 【拠点研究開発のスキーム】




##### 【平成 21 年度拠点研究開発プロジェクト】

拠点研究開発プロジェクト	研究開発拠点	プロジェクトリーダー	期間（年度）
電磁波セキュリティを確保するための高感度電磁波測定技術の研究開発	仙台リサーチセンター	荒井 賢一 (東北大学名誉教授)	平成 17 ~ 21
次世代ユビキタスネットワークシミュレーション技術の研究開発	北陸リサーチセンター	篠田 陽一 (北陸先端科学技術大学院大学教授)	平成 18 ~ 22

**【研究開発拠点】**  
 <リサーチセンター 全国 2 か所>  
 (JGN2plus 関連を除く)

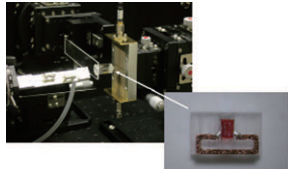
【石川県】  
北陸リサーチセンター

・次世代ユビキタスネットワークを構成する各種ネットワークシステムの検証を、迅速・高精度に行えるシミュレーション技術の研究開発を実施。



【宮城県】  
仙台リサーチセンター

・電磁波セキュリティの向上等に役立つ、電子機器のプリント基板上等から発生する電磁波の高感度測定技術の研究開発を実施。（平成 21 年度末研究終了に伴い閉所。）



## 【プログラムコーディネーター】

プログラム名	プログラムコーディネーター
新世代ネットワークアーキテクチャ	青山 友紀（慶應義塾大学教授）
フォトニックネットワーク	神谷 武志（（独）大学評価・学位授与機構客員教授）
ユビキタスマバイル	加藤 修三（東北大学電気通信研究所教授）
医療支援ICT	河野 隆二（横浜国立大学大学院教授）
バイオICT	柳田 敏雄（大阪大学大学院教授）
超臨場感通信	廣瀬 通孝（東京大学大学院教授）
電磁環境（EMC）	杉浦 行（東北大学名誉教授）